

ウラゴマダラシジミ

兵庫県：要注目

Artopoetes pryeri pryeri

環境省：

種の概要

前翅長17～25mm程度。翅の表面は前後翅ともに淡紫色で外縁部は黒色。裏面は灰白色で、亜外縁部に黒色斑列を有する。丘陵地から山地の樹林に生息し、幼虫はイボタノキなどを食べる。年1化性で、成虫は5月～6月に出現する。



写真提供：刈田悟史

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、明石市、加古川市、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町、姫路市、市川町、福崎町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、新温泉町、篠山市、南あわじ市、淡路市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○				

特記事項

地域限定貴重種から要注目に変更

食餌植物であるイボタは広く分布しているが、本種の生息する低山地の林縁部は、シカの食害による植生の単純化や常緑広葉樹の成長による低木層のブッシュ化などで、生息環境の悪化が進んでいる。

保護上の留意点